

Our History

NECネットエスアイは、通信インフラとデジタル技術を融合させ、誰もが快適で便利に暮らせる社会づくりを推進しています。創立以来の施工技術をベースにICTを駆使するSlerという独自のポジションを築き上げ、幅広い分野での安全安心な通信インフラの構築を担いながら、DXを活用した新たなソリューションを創出しています。

NECネットエスアイの歴史

1953 日本電気から分離独立し「日本電気工事株式会社」を設立



1956 初のテレビ放送設備工事(中部日本放送、大阪テレビ)



1961 情報処理付帯設備分野へ進出

1968 メキシコオリンピック衛星通信工事

1968 通信線路分野へ進出

1970 中米5か国マイクロ工事(多国間同時施工)開始

1974 建設7業種の許可を受け総合建設業への足掛かりに

1976 初の海外現地法人をブラジルに設立

1980 「日本電気システム建設株式会社」へ社名変更

1984 国内拠点本部を新設し全国網展開強化

1986 NCC工事を本格化し新民営通信事業各社より大型受注
情報処理ソフトウェア開発体制発足

1992 大幅な機構改革を実施しC&Cシステムインテグレーション体制を強化

2004 データセンターを開設しアウトソーシング型の運用管理サービスを開始

2005 「NECネットエスアイ株式会社」へ社名変更

2007 働き方改革ソリューション
EmpoweredOfficeの事業化および社内導入



2015 国内子会社4社を機能別に再編
ウーマンズプロジェクトにて在宅ワーク実証実験を開始
IoT向けMVNO事業立ち上げ

2018 ベンチャー企業との共創による新事業創出に向けCVCファンド設立

2019 ICTを活用した陸上養殖事業へ参入

2023 本社を現在の東京都港区芝浦に移転しサステナビリティ経営を加速

2025 当社株式の上場廃止
NESICホールディングス株式会社へ参画



1953～

事業環境の変化

1950年代

- 戦後復興期
- 放送・通信インフラ整備の時代

1960～

1960～1980年代

- 国際通信・衛星通信本格化
- 世界で通信インフラ構築需要拡大
- 通信自由化によるNCC(New Common Carrier)の誕生/台頭

1990～

1990年代

- 通信インフラのデジタル化・高度化が進展

2000年代

- IP化・ブロードバンド化の進展
- 通信と放送の融合

2010～

2010年代

- クラウドの本格的利用拡大
- IoT・第4次産業革命

2020年代

- DXの加速
- 生成AIの進化と普及

創業／通信建設事業を展開

当社は1953年、日本電気株式会社(NEC)の電気通信工事部門が独立して誕生しました。テレビ放送の開始などを背景に通信設備需要が拡大するなか、通信インフラ工事会社として施工技術を磨き、高品質で信頼性の高いサービスを提供してきました。

国内外で事業を拡大

1960～1970年代には、国際通信や衛星通信の普及に伴う海外需要の拡大を受け、イラクでの電力線搬送工事を皮切りにアジア・中南米へ事業を展開しました。1980年代には、国内の通信自由化を背景に通信キャリア基地局整備などへ事業領域を広げました。

Slerとして躍進

IP化やブロードバンド化の進展を受けて企業向けICT事業へと領域を拡大し、施工からSI、保守までを提供する体制を構築しました。また、営業拠点やカスタマーサポート、保守パーツ管理・配送の拠点を全国に展開し、対応力を強化しました。

共創による事業領域拡大・新規事業創出

培ってきた技術力を基盤に、M&Aやパートナー企業との共創を通じて事業基盤を強化するとともに、クラウドやIoTを活用した新たな事業の創出を進めています。さらに、DXやAIの進展に対応した先進的なソリューション開発に注力し、コミュニケーションサービス・オーケストレーターとして事業領域を拡大しています。